

岩手郡医報



題字／高橋 孝 先生 書

岩手郡医師会 No.99／2012年3月

目次 CONTENTS

巻頭言 岩手郡医師会 会長 及 川 忠 人	1
総会議事録 平成23年度第2回岩手郡医師会通常総会	2
臨時総会及び特別講演会	8
総務会議事録	11
役員会議事録	13
臨時拡大総務会①議事録	15
各種行事報告	16
会員投稿	19
会員の入会・退会・異動等	20

巻 頭 言



復興願年にむけて

社団法人岩手郡医師会 会 長 及 川 忠 人

辰の年を迎え、明けましておめでとう御座います。辰年は「昇竜の新春」と受けとめて、辰は「振（ふるう、ととのう）の意味」であり、草木が盛んに形が整って行くと言う状態を指す意味もあるとのこと。この年が被災地の方々が明るく希望をもって進む地域の社会・経済・医療・福祉の復興・復旧が少しでもスピードアップして着実に進むことを願わざるを得ません。

昨年の印象的な震災に関わる出来事は「ブータン国王のワンチュク国王」が福島の前被災地における小学生に話をした内容に感銘を受けたことでした。ブータンの国旗には龍が形度っていて、その意味を次のように国王は話されたそうです。「小学生みなさんは龍をみたことがありますか？ 私はあります。皆さんそれぞれの中に龍がいます。龍は経験を食べて大きくなります。そして立派な人格を持った龍に成長します。皆さん、自分の中の龍を大切に育て下さい」との内容を話されたのです。ブータンはその国の最も重要視する価値観はGNP(国民総生産)ではなくGNH: Gross National Happiness(国民総福祉量)を基本としているそうです。国民一人一人が自分の幸福量を算出しながら、自分の生き方や地域・国のあり方を決めるのだそうです。

昨年の東日本大震災における復旧・復興の段階において地元の消防団、警察、自衛隊の活躍には全く頭が下がる思いで敬服しております。またそれに加え、全国各地からボランティアとして集まり貴重な奉仕を頂いた被災地の地域住民は「絆（きずな）」の大切さを実感するとともに、さらにその奉仕の輪が全世界各地に広がり、多くの若い外国の人々が個性に対応した「トモダチ」作戦を展開され奉仕されたことは記憶に新しく、今後の地域社会・国際社会の復興・復旧そして国際協力への勇気を与える感謝すべき出来事でした。

現地の被災地医師会も壊滅状態からようやく立ち直りつつあり、その復興・復旧の目途が少し見えて、これまでの御努力と粘り強さに脱帽するのみであります。壊滅的被害を受けたこれらの地域の地域医療を再生して行くことの困難さは言葉では言い表せないものであると思われまふ。少しでも早い復興・復旧を心から願うものであります。

我々の岩手郡医師会は5つの自治体から構成される広範な地域医師会であり、多くの課題を抱えております。特に医師不足の課題から「如何に地域医療を守って行くか」が最大の課題であります。今後の地域医療は、地域の人口構成の時代的推移と関係が深く人口減少の時代に突入した現状から、当医師会では「地域医療を如何に守るか」という最大の課題に対応するサポート体制を早急に立ち上げる必要があり、安心と安全を地域住民に提供出来る地域医療の変革が求められております。医師会員一人一人の意識を如何に啓発し変革して行くかが最も大切であり、そのために万難を廃して、「点と線」に近い郡医会会員の相互の繋がりを「5つの自治体が集合するより大きな面の活動体」へと改革することが急務であります。会員お一人一人が「困難な経験」を龍のように食べながら、成長する岩手郡医師会であってほしいと願いながらつたない新年の巻頭言に替える次第であります。

—— 総 会 議 事 録 ——

平成23年度 第2回岩手県医師会通常総会

招集通知日：平成24年1月10日(火)
日 時：平成24年1月28日(土)
17:30～
場 所：盛岡市盛岡駅前北通2-27
ホテルメトロポリタン NEW WING
3階 桐の間
総 会 員 数：88名

出席会員数：28名
委任出席数：46名
司 会：副会長 高橋邦尚
開 会：副会長 篠村達雅
議 長： 飯島 仁
議事録署名人：立本 仁、田村公一
閉 会 挨拶：副会長 久保谷康夫

会 長 挨 拶 要 旨

及川忠人会長より挨拶があった。

活 動 報 告

議長が担当部会報告を求め、高橋邦尚副会長より各担当理事に確認しましたが、今日の段階で特に報告すべき事項はないとのことでありました。

広報に詳しく掲載する予定ですので、それをご参照くださいとの報告があった。

活動報告については、特に質問・意見はなかった。

平成24年度岩手県医師会総会準備について

及川忠人会長より、別紙資料No.2に基づき報告があった。

平成24年6月24日9時30分からホテルメトロポリタン盛岡本館で、第64回岩手県医師会総会及び第128回岩手医学会春季総会が岩手県医師会担当で開催されます。

タイムスケジュールは資料の通りですが、岩手県医師会と岩手県医師会が共同し



て開催することになります。

県の医師会総会は、県医師会の役員・事務局で行うことになり、表彰式などもその中で行われます。今後、詳しく詰めていくことになります。

医学会総会のほうは、呼吸器科の山内教授が講演されると伺っております。県医師会総会は聖路加国際病院の日野原重明先生に特別講演をお願いしております。その後に、懇親会、祝賀会を開催することとしております。

今後、県医師会及び郡医師会担当の先生方と準備を進めてまいりたいと思いますので、ご協力をお願いします。

春季総会準備については、特に質問・意見はなかった。

公益法人制度改革に伴う役員任期について

及川忠人会長より、別紙資料No.3に基づき報告があった。

今回の役員改選は、法人移行期限の平成25年11月末をまたぐことになることから、県医師会としては資料3の2のように、これまでの役員改選では平成24年4月から平成26年3月までの2年が任期となるわけですが、法人移行期限のこともあり新法人移行登記を平成25年4月1日を目標に本年中に申請して、平成25年6月の決算代議員会で新しい定款のもとで再度役員改選を行い、平成26年6月まで1年の任期とし、日本医師会と役員改選期をあわせたいとのことのようにです。

各郡市医師会も、なるべく県医師会と役員改選をあわせた対応をしていただきたいとのことでしたので、役員にも事前にお話ししましたが、岩手郡医師会の総会でもご理解いただくために報告したものであります。

公益法人制度改革に伴う役員任期については、特に質問・意見はなかった。

議 事

続いて議長は議事に入った。

第1号議案 平成23年度岩手郡医師会一般会計補正予算（案）について

第2号議案 平成23年度岩手郡医師会休祭日当番医会計補正予算（案）について

第3号議案 平成23年度岩手郡医師会特別会計補正予算（案）について

議長より、第1号議案、第2号議案、第3号議案は関連あるため一括して上程する

旨説明要請があった。

続いて、篠村達雅副会長より、別紙資料4・5・6に基づき説明があった。

第1号議案および第2号議案並びに第3号議案については、特に質問・意見もなく、議長がこれを諮ったところ、全員異議なく、原案通り満場一致をもって、承認し可決された。

第4号議案 平成24年度岩手郡医師会事業計画（案）について

高橋邦尚副会長より、別紙資料7に基づき説明があり、審議願いたい旨提案があった。

第4号議案については、特に質問・意見もなく、議長がこれを諮ったところ、全員異議なく、原案通り満場一致をもって、承認し可決された。

第5号議案 平成24年度岩手郡医師会一般会計歳入歳出予算（案）について

第6号議案 平成24年度岩手郡医師会休祭日当番医会計歳入歳出予算（案）について

第7号議案 平成24年度岩手郡医師会特別会計歳入歳出予算（案）について

議長より、第5号議案、第6号議案、第7号議案は関連あるため一括して上程する旨説明要請があった。

続いて、篠村達雅副会長より、別紙資料8・9・10に基づき説明があった。

説明後に下記の質問があった。

上原充郎先生：資料9の休祭日当番医会計の使途について全然変わらないようだが、何かこれを消費する方法・考え方、これまで検討するとのことであったが一向に変わらないがどうなっているのでしょうか。

篠村達雅副会長：補正予算のところでお話ししましたが、救急蘇生用人形を買った

とか、iPadを入れるとか、震災時に停電になった場合の自家発電機を入れようかとの話もありました。しかし、自家発電機については種々の問題点もあり、継続検討中であります。また放射線量を測定する機械を購入しようかとの案もありましたが、各自治体で準備して測定しているということなので購入を見送ることとしました。

及川忠人会長：休祭日当番医会計予算にと
もなうこれまでの経緯についての説明が
あり、平成23年度は被災地医師会に各
100万円、合計で400万円を休祭日当番医
会計から拠出しました。

第8号議案 岩手県医師会役員改選（案） について

役員選出委員会の篠村達雅委員長から、
役員選出委員会の結果を、1月18日の役員
会に報告しましたが、平成24年3月31日を
もって、理事および監事の任期が満了退任
となりますので、その後任を選任する必要
があり、13名の理事と2名の監事立候補が
ありましたが、総会での承認をいただくた
め上程する旨説明があった。

理事および監事立候補者は次のとおりで
ある。

岩手県岩手郡滝沢村字穴口183番地3

理 事 植 田 修

岩手県盛岡市紅葉が丘27番21号

理 事 及 川 忠 人

岩手県盛岡市山岸6丁目34番17号

理 事 北 上 明

岩手県盛岡市天昌寺町7番15号

理 事 久保谷 康 夫

岩手県盛岡市西青山三丁目36番8号

理 事 紺 野 敏 昭

岩手県岩手郡岩手町大字沼宮内第7地割48
番地11

理 事 佐々木 久 夫

岩手県岩手郡雫石町10地割字寺の下61番地1

理 事 篠 村 達 雅

岩手県盛岡市緑が丘三丁目12番4号

理 事 高 橋 明

岩手県盛岡市前九年二丁目10番27号

理 事 高 橋 邦 尚

岩手県盛岡市北松園二丁目32番3号

理 事 高 橋 真

岩手県盛岡市東山一丁目26番10号

理 事 枡 内 秀 彦

岩手県八幡平市大更第25地割117番地2

理 事 森 茂 雄

岩手県盛岡市住吉町六丁目8番

理 事 山 口 淑 子

岩手県盛岡市愛宕町2番42号

監 事 金 井 猛

岩手県岩手郡葛巻町葛巻第13地割45番地3

監 事 西 島 康 之

議長が、役員選任について、これを諮っ
たところ、満場一致をもって、承認し可決
された。

なお、被選任者全員は、その就任を承諾
した。

《臨時理事会》

議長より、岩手県医師会定款の定めに従
い、会長1人と副会長3人以内を互選する
ため新役員は別室で協議しますので暫時休
憩する旨説明があった。

《新役員紹介》

枡内秀彦理事から、理事の互選により決
定した事項の報告が次のようにあった。

会 長 高 橋 邦 尚 理事
副会長 紺 野 敏 昭 理事
副会長 久保谷 康 夫 理事
副会長 柄 内 秀 彦 理事

次いで、岩手県医師会の役員推薦等について、下記のとおり推薦したいので承認願いたい旨説明があった。

岩手県医師会理事として

山 口 淑 子 先生

岩手県医師会代議員として

高 橋 真 先生

同上

植 田 修 先生

岩手県医師会予備代議員として

北 上 明 先生

同上

森 茂 雄 先生

岩手県医師会顧問として

高 橋 牧之介 先生

岩手県医師会参与として

高 橋 孝 先生

議長が、岩手県医師会の役員および代議員並びに予備代議員の推薦と岩手県医師会の顧問および参与の委嘱について諮ったところ、全員異議なく、満場一致をもって、承認し可決された。

新 会 長 挨 拶

私が考える今後の医師会について、以下の3点お話しさせていただきます。

①5市町村一体となつてというスローガンは限界にきているのではないかと思います。

各市町村の予算規模、行政方針は異なっており、盛岡市のような単一の行政体とは同じようにならないというのは久保谷先生のご持論ですが、私もそう思います。各市町村のことは、極力、地域の先生方におまかせしたいと思っております。

具体的には、各地区に担当理事を決めさせていただいて、各種の事業及び健診等



の事業は各地区の先生にお任せします。
また、私どもから積極的に出かけて行って、市町村の先生のご意見を伺う機会を作りたいと思っております。

そのうえで、必要であれば郡医師会レベルで協議するシステムを構築したいと思っております。

- ②では、郡医師会は何をするのかでござい
ますが、郡の医師会でしかできないこと
を行います。

東日本大震災や新型インフルエンザのほか、一部の先生にご負担をおかけしている小児医療の問題、喫緊の問題である休日当番医あるいはその配分をどうするか等ですが、休日当番医のことであれば雫石と滝沢の場合であれば、すぐにでも具体的な話を進めることはむずかしいことではありません。また、災害時の対策は従来どおりでよろしいでしょうか、毎年、消防署や警察等と会議が行われていますが、この結果、東日本大震災の時に我々は何をできたでしょうか、はなはだ疑問に残るところであります。

以上のようなことを、あえて私はデッドラインを決めて、より具体的な解決策を示していきたいと思えます。

このようなことで、各種会議を半減でき
ると思えますし会議予算も縮小できると
考えております。

各地域の先生方にも、郡医師会がやって
いることを肌で感じていただきたいと思いますし、医師会に入っていてよかった
と実感していただきたいと思います。

また、けっして安いとは言えない郡医師
会費の運用がどのようになされている
か、各会員の皆様にご理解いただけるよ
うに努力してまいりたいと思えます。

- ③医師会は学術団体であるということに
なっていますが、今までは住民を対象とし
た啓蒙活動が主でしたが、私は、各地域
における保健事業のプログラムを推進し
たいと考えております。

近いところに成功例がございます、佐々
木久夫先生がやっておられた大腸がん検
診の実績であります。地道な活動が続け
ることによって、その成果は全国区とな
り表彰を受けたことは皆さんご存じのと
おりです。

行政、住民、中核病院の医師と連携し、
あるいは大学の若い先生と共同して、
我々の普段の診療の中で、できるだけの
リサーチを行い、運よくインパクトファ
クターの高い学術雑誌にでも掲載できれ
ばとの夢を持ってもおります。

郡としても、それを目に見える形でバッ
クアップしてまいりたいと思えますし、
それほど大きな結果が出ないとしても、
これが住民、行政、医師会会員の共通の
マインドになるということであれば、
やってみる価値はあると私は考えており
ます。

最後に、県の医師会総会、新法人移行等
大変な行事だと思えますが、これまで、
篠村先生が中心となっていた野球大会
のような、大きな行事などを皆さんのご
協力を得てやり遂げたことを思い出して
頂きたい。

私は、皆さんのご協力があれば、これら
のことは乗り越えられると考えておりま
す。

自分自身の力不足は充分承知しております
が、皆さんのご協力をいただければ、
顧問の高橋牧之介先生のおっしゃる郡か
ら県へ、県から国へと、私どもの声を届

けることができるようになると、私は確
信しております。
皆様のご指導ご鞭撻をお願い申し上げま
す。

《その他》

議長が、その他提案事項があるかを糺し
たところ特に発言はなかった。

以上議事を終了

18時20分 久保谷康夫副会長が閉会を宣言
した。

特 別 講 演



■日時／平成24年1月28日(土) 19:00～

■場所／ホテルメトロポリタンNEW WING
3階 桂の間

演題：「奥州藤原氏と平泉文化」

講師：(財)岩手県教育弘済会顧問
金 野 静 一 先生

平成23年度 臨時総会及び特別講演会

招集通知日：平成23年11月9日(水)
日 時：平成23年11月26日(土)
18:00～
場 所：盛岡市盛岡駅前北通2-27
ホテルメトロポリタン NEW WING
3階 桐の間
総 会 員 数：88名

出席会員数：28名
委任出席数：47名
司 会：理 事 栃内秀彦
開 会：副会長 篠村達雅
議 長：吉田雅美
議事録署名人：小山田喜敬、嶋 信
閉 会 挨拶：副会長 久保谷康夫

会 長 挨 拶 要 旨

及川忠人会長より挨拶があった。

議 事 等

(1) 会務報告

紺野敏昭理事より6月総会以降の、下記内容の会務報告があった。

- ①9月22日に滝沢村において救急蘇生法研修会
- ②9月30日に救急医療対策協議会
- ③11月5日にアステラス製薬で産業医研修会
- ④11月12日に葛巻町住民健康講座

及川会長より東日本大震災による被災地支援として下記報告があった。

- ①6月23日から山田町の支援、8月7日から陸前高田市の支援を行い、今後も支援していく予定である。

会務報告について、議長が質問・意見がないか糺したが特になかった。

(2) 平成24年度岩手県医師会総会準備について

及川会長より別添資料のとおり、会場をホテルメトロポリタン盛岡本館に決定し、

準備を進めている旨報告があった。

岩手県医師会総会準備報告について、議長が質問・意見がないか糺したが特になかった。

(3) 新年度役員選出委員会設置（案）について

篠村達雅副会長より別紙資料に基づき、平成24年3月31日で現在の役員の任期が満了になること、第4回役員会にて、新役員の選出は前回と同様「推薦立候補制」とし役員選出委員会を設置することとし、資料の10名の委員で第1回の役員選出委員会を開催した旨報告があった。

役員選出委員会、委員長として篠村達雅副会長を互選し、前回との相違点は、立候補に入会してからの期日制限を撤回したこと、推薦者は前回3名から2名としたこと、告示日12月19日、立候補締切日24年1月7日、第2回役員会選出委員会を1月10日予定について、この臨時総会で審議願いたい旨提案があった。

役員選出方法等について、議長がこれを諮ったところ、特に異議なく全会一致で承認可決された。

(4) 法人移行の現況について

久保谷副会長より、岩手郡医師会では一般社団法人に移行することを決定しているが、今後定款の変更や会計のルール、公益事業、共益事業、収益事業等に事業区分けをして、公益目的支出計画を作成し平成25年11月30日までに移行する準備を岩手県医師会の推移もみながら役員会等で検討している旨報告があった。

次いで篠村達雅副会長より、別紙資料に基づき、前回の総会において質問のあった当番医会計の繰越金の使途について検討したことについて下記の説明があった。

①②の救急蘇生訓練用人形とAEDおよびスクリーン・プロジェクターは購入

③④⑥小型発電機と放射能測定機、iPadは検討中

⑤⑦AED、全額被災地寄付は必要なし

新法人移行後に公益事業は赤字でも、他の事業を含めた全体の事業は黒字でなければならぬことから、休祭日当番医委託料はこれまでと同様、岩手郡医師会に入金し委託料の配分はしないことを役員会で決議したので、審議願いたい旨提案があった。

iPadについて紺野敏昭理事より、無料サーバーに今回の総会資料や種々の資料を入れ、インターネットを通じ会員が紙ベースの資料なしに見ることが可能で、1台5万円超で購入でき、少なくとも役員には

配布し順次会員への配布も検討したい、旨説明があった。説明後、下記の意見があった。

森茂雄理事：1台5万円超とすれば会員全員に配布しても5百万円位なので、もっと支出してもいいのではないかな。

紺野敏昭理事：iPadにパソコンもプラスすれば当然金額はさらに大きくなる。

及川会長：紺野先生を中心に役員会で検討したい。

いろいろ審議の結果、議長がこれを諮ったところ、休祭日当番医委託料はこれまでと同様岩手郡医師会に入金し委託料の配分はしないこと、救急蘇生訓練用人形と訓練用AEDおよびスクリーン・プロジェクターは購入すること、小型発電機と放射能測定機およびiPad購入は継続検討すること、AED購入と全額被災地寄付はしないことを、全会一致で承認し可決した。

《その他》

議長が、その他提案事項があるかを糺したところ特に発言はなかった。

以上議事を終了

18時50分 久保谷康夫副会長が閉会を宣言した。

特 別 講 演

■日時／平成23年11月26日(土) 19:00～

■場所／ホテルメトロポリタンNEW WING 3階 桐の間

演題：「放射線の健康影響について」

講師：(独)放射線医学総合研究所 緊急被ばく医療研究センター被ばく医療部
障害診断室 室長 立 崎 英 夫 先生

(独)放射線医学総合研究所は千葉市にあり、放射線の医学利用と放射線安全研究及び放射線障害に対する医療の研究をしている。そして被ばく医療の分野では、東日本の3次被ばく医療機関として指定されている。今回のTEPCO福島第1原子力発電所事故に対応しては、専門家や資機材の現地派遣、一般や防災関係者に対する電話相談、インターネット、記者会見、講演会等を通じての広報、11名の被ばく患者受け入れ、ホールボディカウンターの校正、国際機関への協力、政府への協力など、いろいろな活動をしてきた。

放射線の健康影響を理解するための基礎として、まず量と単位の理解が大切である。被ばく医療で使う量(単位)は、主に：放射能(Bq)、吸収線量(Gy)、等価線量(Sv)、実効線量(Sv)である。これらを測定するための機器はいろいろなものがあり、用途のあった機器を使うことが大切である。また、実際の対応をする上でも、自然界には事故前からバックグラウンドとして自然放射線が存在していることを念頭に置く必要がある。

放射線の影響は確定的影響と確率的影响に分けて考えるとわかりやすい。確定的影響は閾値があり、ある線量まではその障害が発生しないが、その線量を超えると発生頻度が増加していき100%になるものである。それに対して、確率的影响は閾値がなく、新たな被ばく線量が0でもバックグラウンドとしての発生はあるが、線量増加とともに発生確率も増加していく影響であ

る。具体的には、がん、白血病、遺伝病が確率的影响にあたる。

大量の放射線を一度に全身に被ばくすると、急性放射線症候群と言われる種々の症状が起こってくる。典型的な時間推移を見ると、まず悪心、嘔吐、下痢といった前駆症状を呈し、その後潜伏期を経て、発症期に至る。発症期では線量に応じて、骨髄症状、消化器症状、神経血管症状などを呈する。

放射線の健康影響には、被ばく後数ヶ月たってから起こってくる晩発影響がある。あらゆる臓器、組織に晩発影響は起こるが、特に重要なのが発がんである。発がんは上記の様に確率的影响で、閾値がないと考えられている。放射線発がんは発症までに時間がかかり、白血病でも2年程度から、多くの固形がんでは10年程度から発症率の増加が見られる。

小児は成人に比べて放射線感受性が高いとされている。発がんに関してもこの法則は当てはまり、リスクが2-3倍程度高いと考えられている。広島長崎の原爆被爆者疫学データを見ても、高線量では、同じ被ばく線量の時の小児の発症率は成人のそれよりも高い。しかし、100 mSv といった低線量ではこの差ははっきりしない。

放射性物質が体内に取り込まれ、体内から出る放射線に被ばくすることを内部被ばくと呼ぶ。内部被ばくは、長期にわたって被ばくするために、成人では50年間の被ばく線量を積算した、預託線量という表現を使う。実効線量も預託実効線量で表す。

—— 議 事 録 ——

第3回岩手郡医師会総務会

日 時：平成23年7月27日(水)
19:00～21:30

出席者：及川忠人、篠村達雅、久保谷康夫、
高橋邦尚、栃内秀彦、紺野敏昭

場 所：奥羽キリスト教センター
(財)みちのく愛隣協会事務室

報告事項

- (1) 被災地支援の現状について

協議事項

- (1) 平成24年度岩手県医師会総会の準備について
- (2) JMAT岩手への支援体制について
- (3) 法人移行の経過について

その他

- (1) 岩手沼宮内クリニックの院長交代に係る入会金について

第4回岩手郡医師会総務会

日 時：平成23年10月12日(水)
19:00～21:30

出席者：高橋牧之介、及川忠人、篠村達雅、
久保谷康夫、高橋邦尚、栃内秀彦、
紺野敏昭

場 所：奥羽キリスト教センター
(財)みちのく愛隣協会事務室

報告事項

- (1) 第65回東北医師連合会（9月11日）
- (2) 滝沢村救急蘇生研修会（9月22日）
- (3) 平成23年度岩手郡救急医療対策協議会・講演会（9月30日）
- (4) 法人移行研修会（9月26日）
- (5) 第4回郡市医師会長協議会（10月1日）
- (6) 岩手県医師連盟執行委員会（10月1日）
- (7) その他（会員の入会等の状況）（10／1付）

協議事項

- (1) 平成24年度岩手県医師会総会・準備委員会開催について
- (2) 法人移行の今後の方向について
- (3) 第4回役員会日程（10月20日）案
- (4) 新年度役員選出委員会設置案について
- (5) その他（平成23年度社会保険医療担当者研修会について）

第5回岩手郡医師会総務会

日 時：平成23年12月14日(水)
19：00～20：30

出席者：及川忠人、篠村達雅、高橋邦尚、
栃内秀彦、紺野敏昭、高橋牧之介

場 所：奥羽キリスト教センター
(助みちのく愛隣協会事務室)

報告事項

- (1) 郡市医師会協議会（12月10日）
- (2) 岩手県医師連盟執行委員会（12月10日）

協議事項

- (1) 役員選出委員会よりの告示（案）について
- (2) 平成24年度岩手県医師会総会準備について
- (3) 平成24年度事業計画（案）について
- (4) 平成24年度予算作成に係る検討について
- (5) 一般社団法人移行の時期について

その他

- (1) 山田病院・高田診療所への診療支援（追加）について
- (2) 県央保健所主催の地域医療安全対策研修会後援について（2月4日）

第6回岩手郡医師会総務会

日 時：平成24年1月11日(水)
19：00～20：30

出席者：高橋牧之介、及川忠人、篠村達雅、
久保谷康夫、高橋邦尚、栃内秀彦、
紺野敏昭

場 所：ホテルメトロポリタンNEW WING
3階 桂の間

報告事項

- (1) 12月役員会以降の諸報告
- (2) その他（会員の退会について）

協議事項

- (1) 役員選出委員会の結果について（篠村委員長）
- (2) 平成23年度岩手郡医師会 各会計補正予算（案）について
- (3) 平成24年度岩手郡医師会事業計画（案）について
- (4) 平成24年度岩手郡医師会 各会計歳入歳出予算（案）について
- (5) 平成23年度第2回通常総会日程（1月28日）（案）について
- (6) 平成24年度岩手医学会春季総会準備（6月24日）について
- (7) 今後の岩手郡医師会行事予定について

第3回岩手郡医師会役員会

日 時：平成23年8月24日(水)
19:00～

場 所：ホテル東日本盛岡
4階 椿の間

出席者：高橋牧之介、高橋 孝、及川忠人、
篠村達雅、久保谷康夫、高橋邦尚、
栃内秀彦、紺野敏昭、佐々木久夫、
高橋 明、森 茂雄、山口淑子、
土井尻健一、高橋 真、植田 修、
西島康之、北上 明

報告事項

- (1) 臨時（緊急）岩手県医師連盟執行委員会（8月20日）
- (2) 高田診療所開設について

協議事項

- (1) 平成24年度岩手県医師会春季総会の準備について（6月24日）
- (2) JMAT岩手の今後の支援体制について
- (3) 今後の郡医師会活動計画等について
- (4) その他 岩手郡医師会における今後の会計処理について

第4回岩手郡医師会役員会

日 時：平成23年10月20日(木)
19:00～

場 所：ホテル東日本盛岡
4階 楓

出席者：高橋牧之介、高橋 孝及川忠人、
篠村達雅、高橋邦尚、栃内秀彦、
紺野敏昭、佐々木久夫、高橋 明、
森 茂雄、山口淑子、土井尻健一、
高橋 真、植田 修、西島康之、
北上 明

報告事項

- (1) 第65回東北医師連合会（9月11日）
- (2) 滝沢村救急蘇生研修会（9月22日）
- (3) 平成23年度岩手郡医師会救急医療対策協議会・講演会（9月30日）
- (4) 第4回郡市医師会長協議会（10月1日）
- (5) 岩手県医師連盟執行委員会（10月1日）

協議事項

- (1) 平成24年度岩手県医師会総会・準備委員会開催について
- (2) 法人移行（研修会9月26日）の方向について
- (3) 新年度役員選出委員会設置案について

第5回岩手郡医師会役員会

日 時：平成23年12月20日(火)
19：00～

場 所：ホテル東日本盛岡
4階 椿の間

出席者：高橋牧之介、高橋 孝、及川忠人、
篠村達雅、久保谷康夫、高橋邦尚、
栃内秀彦、紺野敏昭、佐々木久夫、
高橋 明、森 茂雄、山口淑子、
土井尻健一、高橋 真、植田 修、
西島康之、北上 明

報告事項

- (1) 第5回郡市医師会長協議会（12月10日）
- (2) 第5回郡市医師会長協議会（12月10日）

協議事項

- (1) 新役員選挙告示（12月19日）
- (2) 新役員選出締切日（24年1月7日）
- (3) 第2回新役員選出委員会（24年1月10日）
- (4) 平成24年度岩手県医師会（春季）総会準備について
- (5) 平成24年度事業計画（案）
- (6) 平成24年度予算（案）概算について
- (7) 一般社団法人移行の為の事務手続きの開始について

その他

- (1) 山田病院・高田診療所への診療支援（追加）について
- (2) 県央保健所主催地域医療安全対策研修会の後援について（2月4日）

第6回岩手郡医師会役員会

日 時：平成24年1月18日(水)
19：00～

場 所：ホテル東日本盛岡
4階 椿の間

出席者：高橋牧之介、及川忠人、篠村達雅、
久保谷康夫、高橋邦尚、栃内秀彦、
紺野敏昭、佐々木久夫、高橋 明、
森 茂雄、山口淑子、高橋 真、
植田 修、西島康之、北上 明

報告事項

- (1) 会員の諸報告

協議事項

- (1) 役員選出委員会の結果について（篠村委員長）
- (2) 平成23年度岩手郡医師会各会計補正予算（案）について
- (3) 平成24年度岩手郡医師会事業計画（案）について
- (4) 平成24年度岩手郡医師会各会計歳入歳出予算（案）について
- (5) 平成23年度第2回通常総会日程（案）（1月28日）について
- (6) 平成24年度岩手県医師会関連役員推薦（案）について
- (7) 平成24年度岩手医学会春季総会準備（6月24日）について

岩手郡医師会臨時拡大総務会①

日 時：平成23年5月11日(水)
19:00～20:30

場 所：奥羽キリスト教センター
(財)みちのく愛隣協会事務室

出席者：及川忠人、篠村達雅、高橋邦尚、
西島康之、佐々木久夫、栃内秀彦、
紺野敏昭、北上 明

報告事項

- (1) 理事・郡市医師会長連絡会議

協議事項

- (1) 沿岸各医師会への見舞金（義援金）について
(2) JMAT岩手の対応について
(3) その他
①平成23年度岩手郡医師会事業計画
② 〃 岩手郡医師会活動方針
③ 〃 岩手郡医師会業務分担

みんなの いわて を
医 協
ご利用ねがいます

医療用品カタログ通販 5,000品目満載 最大89%引き

医用印刷物・医療機器・医療事務機器・衛生材料
等々・保険事業・医療廃棄物処理事業(収集から
各種報告書作成まで)・福利厚生事業・労働保険
事務代行業

TEL.019-626-3880

購買専用
フリーダイヤル 0120-054-222

FAX.019-626-3883

URL <http://www.ginga.or.jp/~isikyol>

E-mail isikyol@rose.ocn.ne.jp

 いわて医師協同組合
IWATE MEDICAL COOPERATIVE ASSOCIATION
〒020-0024 盛岡市菜園二丁目8番20号 岩手県医師会館内

各種行事報告

特別研修会

■日時：平成23年6月29日(水) 18:30～

■場所：ホテルメトロポリタン盛岡
4階 姫神の間

共催：岩手郡医師会・岩手県小児科医会・
岩手県予防接種センター

次 第
司会進行 岩手郡医師会副会長
篠村 達 雅

1. 開会挨拶

岩手郡医師会長 及 川 忠 人

2. 特別講演

『小児用肺炎球菌・Hib・子宮
頸がん・各ワクチンについて』

講師：岩手県小児科医会

岩手県予防接種センター担当医

菅 野 恒 治 先生

座長：岩手郡医師会長

及 川 忠 人

3. 閉会挨拶

岩手郡医師会副会長 篠村 達 雅

村民救急蘇生法講習会

■日時：平成23年9月22日(木) 14:00～

■場所：滝沢村老人福祉センター

次 第

司会進行 岩手郡医師会理事
栃 内 秀 彦

1. 開 会 (14:00)

2. 挨 拶 (14:00～14:10)

◇主 催

岩手郡医師会長 及 川 忠 人

◇共 催

滝 沢 村 長 柳 村 典 秀

3. 講 習 会 (14:10～16:00)

講 演

① 東日本大震災における
岩手県の医療対応について

② 誰でもできる心肺蘇生法

講師：岩手医科大学救急センター

秋 富 慎 司 先生

実技指導

AED（自動体外式除細動器）
の使用方法の習得

4. 閉 会 (16:00～)

平成23年度岩手郡救急医療対策協議会

■日時：平成23年9月30日(金) 17:00～

■場所：ホテル東日本盛岡
14階 オーロラの間

次 第

1. 開 会

岩手郡医師会副会長 篠村 達 雅

2. あいさつ

岩手郡医師会会長 及 川 忠 人

3. 委員の紹介

4. 協議・報告事項

(1) 副会長の指名

(2) JMAT岩手の今後の支援体制について

(3) 平成22年度 岩手郡医師会休祭日当

番医の実施状況について

- (4) 盛岡地区消防本部の救急体制と平成
22年度救急活動の状況について

5. 閉 会

岩手郡医師会理事 栃 内 秀 彦

岩手郡医師会救急医療講演会

■日 時：平成23年9月30日(金) 18:00～

■場 所：ホテル東日本盛岡
3階 鳳凰の間

次 第

1. 開 会

岩手郡医師会副会長 篠 村 達 雅

2. 講師紹介

岩手郡医師会会長 及 川 忠 人

3. 講 演

『災害時のアマチュア無線の役割と課題』

講師：総務省岩手県テレビ受信者支援センター
センター次長 野 田 尚 紀 先生
座長：岩手郡医師会長

及 川 忠 人

第5回岩手郡糖尿病対策推進会議学術講演会

■日 時：平成23年10月24日(月) 18:45～

■場 所：ホテルメトロポリタン盛岡NEW WING
4階 メトロポリタンホール南

次 第

1. 教育講演 (19:00～19:30)

『糖尿病薬物導入療法導入時の注意点 －薬剤師の視点から－』

講師：岩手医科大学附属病院 薬剤部
日本糖尿病療養指導士

蠣 崎 淳 先生

座長：木村内科クリニック院長

木 村 秀 孝 先生

2. 特別講演 (19:30～20:30)

『糖尿病治療の新たなステージ ～インクレチン治療を含めて～』

講師：秋田大学大学院 医学系研究科
内分泌・代謝・老年内科学
准教授 成 田 琢 磨 先生
座長：東八幡平病院長

及 川 忠 人 先生

平成23年度岩手郡医師会産業医実地研修会

■日 時：平成23年11月5日(土) 14:00～

■場 所：アステラス ファーマ テック(株)
西根工場

主催：岩手郡医師会

共催：アステラス ファーマ テック(株)

次 第

1. 開 会

岩手郡医師会理事 森 茂 雄

2. 挨拶

岩手郡医師会会長 及 川 忠 人

3. 講 演 (14:00～15:30)

(1) 『放射線の本県への影響と今後の課題』

講師：岩手県環境生活部環境保全課
環境保全特命課長

田 村 輝 彦 先生

座長：岩手郡医師会長

及 川 忠 人

(2) 『緊急被ばく医療と検査について』

講師：岩手県保健福祉部医療推進課
感染症担当課長

工 藤 啓一郎 先生

座長：岩手郡医師会長

及 川 忠 人

4. アステラス ファーマ テック (株)

西根工場の紹介 (15:40～)

ア. 工事の概要説明

イ. 工場見学

ウ. 質 疑

5. 閉 会

岩手郡医師会理事 高 橋 真

葛巻町民健康講座

■日 時：平成23年11月12日(土) 14:00～

■場 所：葛巻町総合センター

次 第

司会進行 岩手郡医師会理事

栃 内 秀 彦

1. 開 会 (14:00)

2. 挨 拶 (14:00～14:10)

◇主 催

岩手郡医師会長 及 川 忠 人

◇共 催

葛 巻 町 長 鈴 木 重 男 様

3. 講 演 会 (14:10～16:00)

(1) 『糖尿病並びに認知症について』

講師：葛巻町国民健康保険 葛巻病院

院長 山 本 雅 彦 先生

座長：岩手郡医師会長

及 川 忠 人

(2) 『地域医療の現状と課題』

講師：(財)みちのく愛隣協会 東八幡平病院

院長 及 川 忠 人 先生

座長：岩手郡医師会監事

西 島 康 之

4. 閉 会 (16:00～)

平成23年度岩手郡医師会 社会保険医療担当者研修会

■日 時：平成23年12月2日(金) 18:00～

■場 所：岩手県医師会館

4階 大ホール

次 第

1. 開 会

2. 挨 拶

岩手郡医師会長 及 川 忠 人

3. 講習内容等

座長：岩手郡医師会理事

佐々木 久 夫 先生

(1) 挨 拶

東北厚生局 岩手事務所

所長 谷 内 隆 司 先生

(2) 『保険診療の理解のために』

講師：厚生労働省 東北厚生局

主任指導医療官

布 川 茂 樹 先生

4. 閉 会

会 員 投 稿

小規模多機能施設について

医療法人 敬仁会 介護老人保健施設アットホームくずまき
理事長 西 島 康 之

葛巻の地に介護老人保健施設アットホームくずまきを開設してから、早いもので7年余りの歳月が経過しました。おかげさまでこれまで大きな事故なども無く、葛巻町内および近隣町村の高齢者の皆様にご利用いただいております。しかし地域の高齢者の中には、「ユニットケアで個室なのはわかるが利用料金がなくて利用しづらい」「できるだけ在宅で暮らしたい」との要望を訴える人も多く、事業者として施設サービスの限界を感じることも多々ありました。本人が在宅生活を望んでいるのは理解できるのですが、葛巻町は年金生活の老々世帯や独居老人も多く、認知症の発症や孤独死は深刻な問題であり未解決のままです。地域の医療と福祉に携わる一人として、「なんとか地域のお年寄りが在宅で安心して暮せる方法はないものだろうか…」と頭を悩ます日々が続きました。そんな中、ふとしたことから地域密着型サービスという事業を知り、小規模多機能型居宅介護支援というサービスを知りました。私はこれこそ自分がやりたかったサービスであると確信し、盛岡北部行政事務組合から葛巻町の小規模多機能型居宅介護支援事業者としての内定を受けました。事業者開設者研修では指定の基準や認知症ケアなどの講義を受けて理解を深めるとともに、私なりの小規模多機能型居宅介護支援のコンセプトを考える機会となりました。「アットホームくずまきの基本理念に沿った施設を作りたい」「将来、自分も利用したいような住居や環境にしたい」「地球環境にやさしいクリーンエ

ネルギーを導入したい」「地域の高齢者が気軽に利用しやすいような運営を目指したい」など、アットホームくずまき同様に「人と地球に優しい施設」にしたいと考えました。また、現場体験では一戸町の結愛サービス公社様の運営するグループホームにお邪魔させていただきました。施設の責任者の方から施設の概要などの説明をしていただき、利用者の方への処遇についてもいろいろ説明をしていただきました。利用者の方々と触れ合う機会も設けていただき、私も介護職員と同じ視点で認知症高齢者の方と係わることができました。利用者の方の立場になって考えるということがいかに大切なことであるかを実感させられるとともに、介護の現場の大変さというものもあらためて考えさせられました。

地域密着型サービスという事業は地域住民にとって絶対必要なものであると私は考えます。しかしその一方で経営的には厳しい事業であることもまた事実です。外に目を転じれば、米国に端を発した金融危機や地球温暖化による異常気象など私たちを取り巻く環境は悪化の一途を辿っているかのような感があります。介護保険制度もこの先どうなっていくかはわかりません。しかしただ嘆いていても現実は何も変わりません。私は医師として、地域の治療と福祉に携わる者として、厳しい道のりではありますが、高齢化率が40%を超えるこの葛巻町で孤独死を無くし、お年寄りが安心して自宅で暮せる環境作りを決意するものであります。

会員の入会・退会・異動等

【入 会】

(平成24年 3 月 1 日現在)

入会月日	所 属 施 設 名	氏 名	前 所 属 施 設 名
8 月 1 日	岩手沼宮内クリニック	前 田 憲 一	二戸クリニック
9 月 1 日	葛 巻 病 院	菊 地 健	清潮会クリニック
9 月 1 日	滝 沢 中 央 病 院	加 藤 貴 志	北海道央佐藤病院
9 月 1 日	栃 内 第 二 病 院	伊 藤 伊一郎	奥州病院

【異 動】

(平成24年 3 月 1 日現在)

退会月日	所 属 施 設 名	氏 名	異 動 後 の 施 設 名
10月 1 日	自 宅 会 員	坂 井 博 毅	アットホームくずまき

【退 会】

(平成24年 3 月 1 日現在)

退会月日	所 属 施 設 名	氏 名	備 考
9 月30日	西 根 病 院	加 藤 隆 幸	開業（盛岡へ）
12月28日	葛 巻 診 療 所	鈴 木 祐 八 郎	死亡
3 月 1 日	自 宅 会 員	杉 本 圭 士 郎	退会

会員数の状況

3 月 1 日現在の会員数 86名

編	集
後	記

本号は、郡医師会の大きな転換時期を迎えての発刊です。

岩手県医師会総会及び新法人移行等、多くの問題を抱えながら新しい体制へのスタートを切ること

になります。

またそれに伴い、郡医報の使命も大きく変わることになります。

発刊回数については、予算等のこともあり未だに確定は出来ませんが、総会・役員会等を中心とした議事及び議決内容や、各種の事業内容をお伝えするとともに、上記のような大きな問題に対する協議内容の推移を会員各位にお知らせする唯一の手段となります。

一方で、会員の積極的な意見を述べる場として使命も果たさなければなりません。

会員の皆様の参加をお願いするとともに、興味を持っていたいただけるような企画・運営を努力したいと思っております。

さて、次回は郡医報100回の記念号となります。少しだけで結構です。ご期待下さい。

岩手郡医報：No.99／2012年3月発行

発行：社団法人 岩手郡医師会

発行責任者：岩手郡医師会会長 及 川 忠 人

事務局：〒028-7303 八幡平市柏台二丁目8番2号東八幡平病院内

TEL 0195-78-2607 FAX 0195-78-2555

<http://www.iwategun-med.or.jp>

制作：社団法人 岩手郡医師会広報部